

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長等名）	その他の 配布先
9/29 （月）	朝来土地改良センター （農村計画課）	ダイヤルイン 079-672-6895	所長 <small>いばし きよひと</small> 飯平 清人 （課長 <small>おくだ まさひこ</small> 奥田 勝彦）	—

田んぼ法面の「草刈り作業道設置実演会」の開催について ～兵庫県内で初めての草刈り作業軽減への取り組み～

田んぼの法面等の草刈りは、農作業の中でも相当の時間数を占め、特に中山間地域では地形勾配が急なことから長大な法面が多く、その作業は重労働であるとともに危険な作業となっています。また、農家の方々からも草刈り作業軽減の相談もあることから、その対策として田んぼ法面の中段等に作業道を設置する取り組みを始めています。

これは県内で初めての取り組みであり、今後広く普及していくためにも、モデルとして養父市能座区で実演会を開催し、作業道造成機の操作技術の習得や安全面への配慮等を周知いたします。



1 実施日

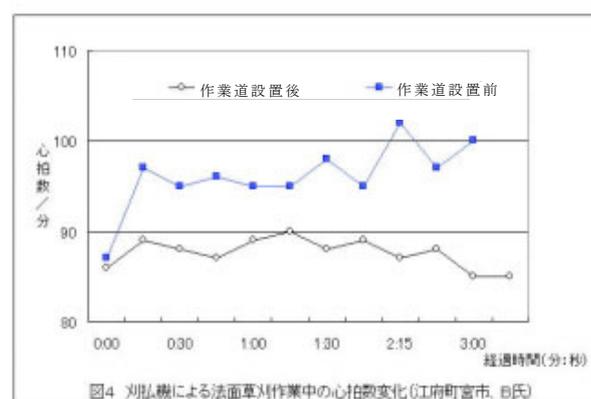
平成26年10月3日(金) 13:30～15:30

2 実施場所

養父市能座区 田んぼの法面
(ヒダリマキガヤの木付近)

3 参集範囲（参加予定：100名程度）

多面的機能支払制度に取り組む集落
県下市町・土地改良センター等



注) 被験者 B 氏：53才、男、平常時心拍数74
SRC260U(肩掛け式、両手120°開)+チャック(255mm)
法面傾斜：作業道有り38.9°、横行37.5°

(参考) 草刈り時の作業道の有無による心拍数の変化
(鳥取県農業試験場・研究成果より)

4 法面作業道設置の手順

- ・法面は事前に草刈り作業を行います。
- ・作業道の設置箇所や間隔は、それまでの刈払機による草刈り作業時の足場位置の痕跡に習って、設置間隔が1.5m～2m程度で決定し、消石灰等により水平に印をつけます。
- ・作業道の幅(足場)は、作業道の延長方向をみて両足を揃えて立てる幅25cmを目標とし、設置作業は前進・後進の往復作業を1～2回行いながら幅を拡げます。

5 法面作業道造成の作業時間

- ・作業道100mを造る所要時間は、約1時間程度となります。

6 法面作業道設置状況等

作業道設置状況



作業道設置完了



作業道造成機

